

令和4年3月30日(水)  
関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会  
【事務局】  
国土交通省 関東地方整備局  
河川部 河川環境課

## 記者発表資料

～関東地域におけるコウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくりを目指して～

「関東地域におけるコウノトリ・トキを指標とした生態系ネットワーク形成基本計画」を改定しました

『関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会』は、関東地域において、多様な主体が協働・連携し、コウノトリ・トキを指標とした河川及び周辺地域における水辺環境の保全・再生方策の推進と併せて、コウノトリ・トキをシンボルとしたにぎわいのある地域振興・経済活性化方策に取り組み、広域連携モデルとしてのエコロジカル・ネットワークの形成によるコウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくりの実現を目的として取り組みを進めています。

このたび、平成28年に策定した基本計画の2020年短期目標に関する達成状況の評価を踏まえて、新たに2030年中期目標に向けた取り組みプログラムを改定した基本計画を令和4年3月に策定しましたので、お知らせいたします。

基本計画本文につきましては、関東地方整備局のホームページに掲載しておりますので、併せてご覧下さい。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/river\\_chiiki00000035.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/river_chiiki00000035.html)

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川県建設記者会、埼玉県政記者クラブ

### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 TEL.048-601-3151(代表)、FAX.048-600-1379

河川部 河川環境課 課長 はざわ としゆき 羽澤 敏行(内線3651)

課長補佐 しいな のりゆき 椎名 紀幸(内線3656)

# 関東エコロジカル・ネットワークの概要(背景・経緯)

参考資料

- H19 ●第三次生物多様性国家戦略(「エコロジカル・ネットワークの形成」が位置づけられる)
- H20 ●国土形成計画・全国計画の閣議決定(「エコロジカル・ネットワークの形成」が位置づけられる)
- H21 ●首都圏広域地方計画の策定(「南関東水と緑のネットワーク形成プロジェクト」が挙げられる)

広域ブロック自立施策推進調査  
「南関東における水辺環境エコロジカル・ネットワーク形成による魅力的な地域づくり検討調査」の実施



「関東エコロジカル・ネットワーク形成に関する検討委員会」の設立

【3つのエリアでWG開催】



- 第1回検討委員会
- 第2回検討委員会

- H22 ●生物多様性国家戦略2010
- 第3回検討委員会

- H23 ●第4、5回検討委員会

- H24 ●生物多様性国家戦略2012-2020
- 第6回検討委員会

「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」

コウノトリ・トキの野生復帰を目指して、栃木県小山市、埼玉県鴻巣市、千葉県野田市・いすみ市等で計画づくりや協議会の発足等の取組みがスタート(H22.7)

「関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会」の設立

- 第1回推進協議会



エリア協議会を設置  
●利根運河周辺エリア(H26)  
●渡良瀬遊水地周辺エリア(H27)  
●荒川流域エリア(H29)  
※利根川下流エリアでも、協議会設置にむけて調整中

- H26 ●第2回推進協議会 → 「基本構想」策定

- H27 ●第3回推進協議会 → 「基本計画」策定

- H28~R1 ●第4~7回推進協議会

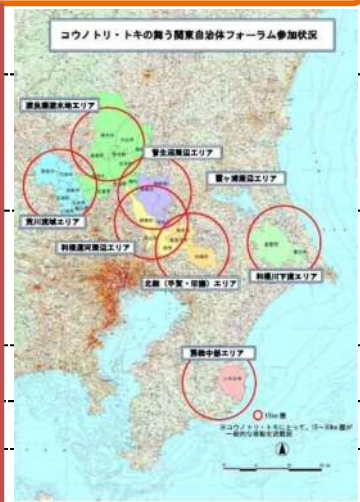
- R2 ●気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について(答申)(生態系ネットワークに配慮した水害対策が位置づけられる)
- 第8回推進協議会 → 「基本計画」見直し(案)検討

- R3 ●第9回推進協議会 → 「基本計画」改定版の策定

- 野田市でコウノトリの飼育開始

- 野田市でコウノトリの放鳥開始

- 野田市放鳥個体と鳴門市から飛来した個体がペアを形成、渡良瀬遊水地でコウノトリのヒナ2羽が誕生、巣立つ



5県におよぶ29市町が加盟し、関係自治体で広域連携を図っています。

# 関東地域がめざす到達目標のイメージ



シンボルとしての  
コウノトリ・トキの野生復帰



生物多様性を育む  
持続可能な農業



地域経済の活性化



都市部との  
対流・にぎわい創出



暮らしの快適性・安全性の実  
現、地域の誇り・愛着の醸成



湿地環境の保全・再生と  
治水機能の向上

## ● 「基本計画」改定の主なポイント

改定した基本計画では、従来の理念や方針は基本的に踏襲しつつ、グリーンコミュニティづくりにつながる産官学民の一層の連携・協働などに着目した重点プログラムの設定など、新たな工夫を加えてとりまとめました。

### ■2030年までに実現を目指す中期目標

- ・コウノトリの関東地域個体群の形成が進むとともに、コウノトリをシンボルとする国内各流域のエコネット事業地間から東アジアに至る個体群間の交流がはじまっている。
- ・コウノトリやトキの関東地域個体群が自活して繁殖・生息が可能となる湿地環境等の改善や創出が、堤外・堤内における関連主体の役割分担に応じ流域一体で進められており、河川と水田がつながることによって淡水魚があふれている。
- ・コウノトリ・トキと共にくらせる地域を誇りとし、地域経済及び社会を構成する様々な主体の賑わいに基づいた、持続可能で魅力ある地域づくりが進められている。
- ・グリーンインフラの概念による流域治水の取組みが主流化し、コウノトリ・トキのほかにも関東各エリアの地域特性に基づく指標種を加味した、個性豊かなエコロジカル・ネットワークの形成が促進されている。

### ■2025年（中間地点）までに集中的・重点的に取り組むプログラム 〈重点プログラム〉

#### 【たね地づくり】

- ・関東広域の救護・事故防止対策への効果的な取組みの推進
- ・関東地域のコウノトリ・トキの野生復帰とエコネットに関する認識・理解の促進

#### 【定着地づくり】

- ・エコネットと流域治水の一体的推進による「コウノトリ関東地域個体群」形成への進展
- ・地域特性と各プログラムの統合化による生息環境整備の計画作成・実施

#### 【人・地域づくり】

- ・コウノトリやトキ等とくらす地域学習プログラムの実施
- ・環境価値を重視したブランド農産物・商品の開発・生産・販売促進と地域還元方策の検討・実施
- ・産官学民セクター間の交流・連携・協働の促進